

## 策定委員会等会議録

審議会等の名称	第4回甲州市商工業振興計画策定委員会
開催日時	平成29年12月6日(水) 15:30~17:00
開催場所	甲州市役所本庁舎2階 第1会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	澤伸恭、大久保親雄、林徳子、(3人) <span style="float: right;">〔敬称略・五十音順〕</span>
事務局	中村産業振興課長、林主査、雨宮主事、渡邊主事
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員長あいさつ</li> <li>3 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学生対象ワークショップの結果報告について</li> <li>(2) 商工業振興計画の素案について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>4 閉会</li> </ol>
内容	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>1 開会 ○事務局（開会の辞）</p> <p>2 委員長あいさつ ○委員長（挨拶を行う。）</p> <p>3 議事 ○委員長 学生対象ワークショップの結果報告について、事務局より説明を求める。 ○事務局 資料1を用いて説明を行う。</p> <p>12月1日(金)に学生向けのワークショップを開催した。参加者は学生15名、関係者9名。内訳としては、山梨県立大学の学生が4名、塩山高校の生徒が11名であった。関係者は澤委員長、塩山高校の古守先生、市議会議員3名、事務局4名であった。</p> <p>実施概要については、学生を3つのグループに分け、最初に自己紹介やチーム名決めを行った。単純にA、B、Cチームとするのではなく、チーム名を決めることにより一体感がでる効果がある。その後、澤委員長よりワークショップの趣旨及び目的の説明、地域ブランドについての説明、ルール説明の後ワークショップに入った。</p> <p>今回のワークショップについては、前回までとは違い、予め甲州市の特徴をフルーツと決定し、フルーツを活かした商品・サービスについて検討する個人ワーク、グループワークを行った。その内容に基づき、グループごと商品・サービスのビジョン、将来展望について、地域ブランディング整理シートにまとめ、発表を行った。最後に甲州市のビジョン・将来展望について全体討議をし、終了した。</p> <p>前回の一般を対象としたワークショップと比較して、商品のアイデア数も多く、とても熱心にワークショップを行っていた。各グループからフルーツを使った美容用品、蛇口をひねるとフルーツジュースが出てくるサービス、ぶどう</p>

豚、フルーツパーク施設、フルーツを使った医薬品、化粧品等の意見が出た。美容関係の商品が総じて多かった。

講評の際には市議会議員や塩山高校の先生より面白い取り組みとして評価をいただいた。

○委員長 学生対象ワークショップの結果報告について意見を頂戴したい。

○事務局 美容や医薬、健康という意見が多く出たのが特徴である。学生はイメージしたことを否定せずそのまま言葉にしており、若い方独特の発想であった。自由な意見を出し合って語る場としてワークショップは向いていると感じた。大学生と高校生を組み合わせることにより、大学生がファシリテーターの役割を担っており、意見を出させる働きをしていた。商工業振興計画に限らず、大学生、高校生、さらにはその少し上の世代がうまくチームをつくり研究をすることは非常に面白いことだと感じた。市議会議員に見て理解していただいたことも良かった。エッセンスをどのように盛り込んでいくか考えていきたい。

○委員長 学生を対象とするワークショップは非常に楽しかった。実現の可能性を考えずにアイデアをどんどん出していた。大人の意見で出なかった商品も多く良かった。商工業振興計画の本編にしっかり盛り込めると良い。

○委員 ヘッドスパや桃の香りがする枕など、発想が豊かであった。是非計画に活かしてほしいと感じた。

○委員長 大人は匂い、香りには着目しなかった。匂い・香りも重要だと勉強になった。

○事務局 大学生が主導でグループをまとめ、男の子が意見を活発に出していた。発想が豊かで驚いた。みんな発表や意見を自主的に行っていた。

○事務局 模造紙にテーマを書く際に、フルーツを英語で書いていた。外国人来訪者を意識してのことでありすごいと思った。また、大学生が中心となり全員で意見を出し合っており非常に良かった。

○委員長 商工業振興計画の素案について、事務局より説明を求める。

○事務局 資料2-1、2-2を用いて説明を行う。

資料編については、事業者アンケート調査の調査結果と全3回のワークショップの結果報告となる。掲載方法等については今後検討が必要と考えている。

本編の組立てについては、市長のあいさつ文に始まり、第1章から第5章までの章立てとなっている。第1章の計画の概要については、計画の趣旨や期間、方針が示されている。第2章の本市の地域特性と取り巻く情勢については、本市の立地条件、人口・世帯の推移、産業別の推移がグラフを用いて記載されている。第3章の商工業振興計画の基本的な考え方については、基本方針と基本施策が記載されている。基本方針に基づいて7つの基本施策を提示させていただいた。第4章の施策の方向については、P16の施策の体系にあるように7つの基本施策に基づき主な取組みが記述されている。P17からP22は具体的な施策の状況や今後の取組み内容が記載されている。第5章の計画の推進については、推進体制や管理体系（PDCAサイクル）について記載をさせていただいた。

年内を目処に、委員の皆様からご意見をいただき、体裁を整えた上で委員の皆様

(2) 商工業振興計画の素案について

様に再度計画（案）をお示ししたい。その上でパブリックコメントを3週間ほど行い、一般の市民の方の意見も広く聞いていく。パブリックコメント中には、商工業振興計画策定に関する市民セミナーを開催する。最終的なまとめを委員の皆様を確認いただき2月から3月にかけて市長に答申をしていく予定である。委員の皆様には返信用の封筒を同封させていただいたので、12月中にご意見を頂戴したい。

○委員長 商工業振興計画の素案についてご意見があれば伺いたい。

○事務局 他の市町村との差別化を図る必要がある。甲州市の地域ブランディングとは何かということについて例などを使って示した方が良く考えている。資料編のアンケートの集計結果を基に必要な事業を本編に入れていきたい。

○委員 主に第4章の施策の方向（P16）について考えればよいのか。

○事務局 今後5年間で実現することは主に第4章の内容であり重点的にご意見を頂戴したい。また、もっと消費者目線での視点を意識して書いた方が良くなど、商工業振興に関して広く意見を頂戴したい。

○委員長 ワークショップの内容は是非入れてほしい。また、甲州市を将来的にこういう地域にしていくという決意表明が本編に入ってくると良い。

○事務局 フルーツを活用して周りも発展していくことが大事ということを入れながらブランディングをすると、ここにしかないものができる。フルーツは作っていないから関係ないという方にも、それを大切に成長させながら地域も発展していくことに繋がると理解してほしい。

○委員長 今回のワークショップも大きな目的は商品をつくることではなく、地域の活性化である。最終的には住んでもらうことが目的である。そうすると全ての人に関わってくる。

○事務局 本市を取り巻く情勢については、本市の状況がもう少しわかるように記載したい。例えば、中心市街地の商店街が衰退してきており、塩山バイパスにお店が集まっているのも特徴であり、その中で中心市街地でも喫茶店をやりたいという経営者もおり、甲州市独自の課題と発展性を入れ込んでいくと良いと考えている。その上で、国家的、国際的課題から本市の課題を見据えると甲州市の基本的な考え方が見えてくる。市の人口も減少傾向にあるので、交流人口を増やし市外から来てもらうことが大切となってくる。

施策の展開には今やっていることとビジネスプランコンテストやクラウドファンディング、空き店舗バンク等の新規事業も盛り込んでいきたい。用語の説明などもわかりやすく注釈を入れていきたい。事業承継セミナーについては、県の担当者からも先進的な取組みとして評価をいただいた。子どもの7割が県外に出てしまう現代において、どのように持続可能な地域を作っていくかが一番重要である。

○委員長 稼げると継いでくれる傾向にある。

○事務局 稼ぐ地域であることは重要である。空き店舗の活用など、自分の子どもではなくても継がせるようなことを進んで行くことも大切である。町全体がイオンモールのような賑わいが、商店街の街中にあると面白い。フットパスや朝市のような取組みを上手に絡めると町の活性化に繋がる。

<p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>	<p>○委員長 丹波篠山では空き家をまとめてイノベーションしてホテルにしている。甲州市の具体的な取組みを記述すれば、その事業をやりたい人も出てくる。それだけでも一般的な計画とは変わってくる。個人的には、メドックマラソンの甲州市版をやってほしい。メドックマラソンとはワインや食事を楽しめるポイントが設置されているフルマラソンである。地域資源が豊かな甲州市ではできるのではないかな。</p> <p>○事務局 商工会さんでは発達支援計画を作成しているが、商工業振興計画との整合性なども見ていただき意見を頂戴したい。</p> <p>○委員長 商工会で進めたいということは入れた方が良い。</p> <p>○事務局 最近では事業承継という言葉をよく耳にする。5年ほど前まではあまり聞かなかった。商工業振興計画も先を見越したような内容にしていきたい。</p> <p>○委員 創業支援も大切だが、今ある企業の事業を繋いでいくことも大切である。</p> <p>○事務局 商工会の立場から現場を見た意見も参考にさせていただきたい。また、小規模事業者への支援の充実などについても相談させていただきたい。</p> <p>○委員長 商工会の役割は大きい。</p> <p>○事務局 委員の皆様には、年内中に意見をいただき、年明けに意見を反映させた形で計画案をお示ししたい。パブリックコメントについては1月19日あたりを目安に行い、パブリックコメント前後に策定委員会を1回ずつ行う予定である。</p> <p>○委員 甲州市らしさを研ぎ澄ませさせた計画にしていきたい。</p> <p>○事務局 本日の委員会に欠席された委員の皆様には資料を送付し、意見をいただくよう対応する。今後の詳しい日程は、委員長と相談の上お知らせする。</p> <p>○事務局 (閉会の辞)</p>
<p>会議資料</p>	<p>1 甲州市商工業振興計画策定委員会第4回委員会次第</p> <p>2 第3回甲州市商工業振興計画策定委員会会議録</p> <p>3 (資料1) 甲州市商工業振興計画ワークショップ開催結果</p> <p>4 (資料2-1) 甲州市商工業振興計画(案)</p> <p>5 (資料2-2) 甲州市商工業振興計画 資料編(案)</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>産業振興課 商工担当</p> <p>TEL 0553-32-5092</p>